



士別ロータリークラブ会報

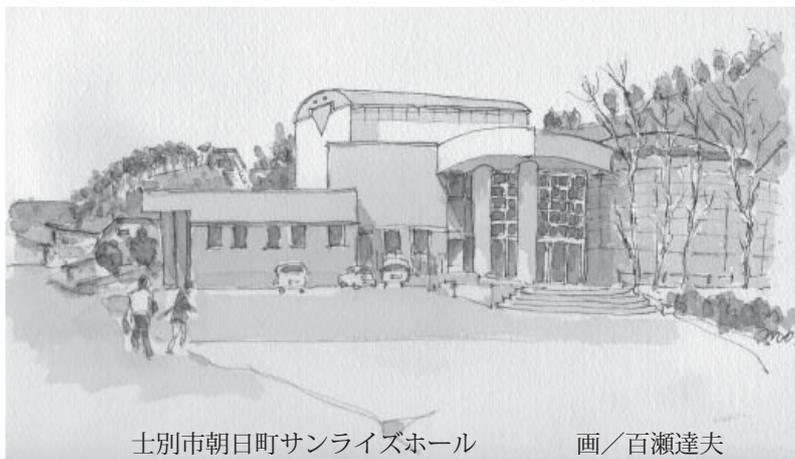
創立 1960・3・24 RI 第 2500 地区

Vol. 015 No. 2157



率先しよう

2006～2007 年度 RI 会長
ウィリアム ビル・ボイド



士別市朝日町サンライズホール 画/百瀬達夫

第 2235 回例会 2006年 11月6日 (月)

本日のプログラム

・普通例会・理事会

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル
TEL 0165-23-1234

会長/大塚 勝人
副会長/野崎 英男
幹事/菊地 博

■ 前 回 (10月30日、月曜日) の記録 ■

・ガバナー公式訪問夜間例会

司 会 若森 孝会場監督

斉 唱 奉仕の理想

本日の出席 出席率 100% 会員 67 名中 出席者 67 名

本日の欠席

メイクアップ

ビ ジ タ ー

ゲ ス ト 小野 哲 2500 地区ガバナー、川島照雄 2500 地区副幹事、
千葉道夫 2500 地区ガバナー補佐

ニコニコBOX

累計 132,000 円

例 会 予 定

11 月・ロータリー財団月間

11 月 6 日 (月) 普通例会・理事会

11 月 13 日 (月) 普通例会

11 月 20 日 (月) 早朝例会

11 月 27 日 (月) 夜間例会

12 月・家族月間

12 月 4 日 (月) 普通例会・年次総会・理事会

12 月 11 日 (月) ファミリーパーティー (夜間例会)

12 月 18 日 (月) 普通例会

12 月 25 日 (月) 普通例会

■会務報告 大塚勝人会長

●先週 23 日の例会終了後、12 月の総会に向けてパスト会長会役員会を行いました。

●百瀬会員が北海道社会貢献賞を受賞しました。この賞は各界でご尽力してきた人の功績をたたえ道が表彰する賞です。この度百瀬会員は長年にわたり地域医療に貢献し、又、公衆衛生の向上にもご尽力された事が評価されたものです。本当に百瀬会員おめでとうございます。

●士別商工会議所で 11 月 1 日から、いよいよ地域振興券を発行することになりました。取扱店が 164 店でそのうち 60 店で趣向を凝らし、何らかの特典を考えているようです。この事が地域の活性化につながるよう期待したいと思います。

●千葉県会員の奥様のお父さんがお亡くなりになりました。先日の地区大会の頃も大変危険な状態で奥様が付き添っていたようですが、大変残念です心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■幹事報告 菊地 博幹事

① 11 月 7 日 (火) 午後 6 時から開催を致します、2006 ~ 2007 年度士別ロータリークラブパスト会長会総会のご案内ですが、出欠のご連絡は、本日の例会までとなつておりますので、まだご返事をされておられません方につきましては、宜しくお願い致します、なおオプザバーで、前年度副会長さんの織戸俊二会員並びに先のパスト会長会役員会にご出席を頂きました、役員の方の出席をお願い致します。

② 社会福祉法人士別愛成会様より、10 月 6 日付けで黒河愛子様新たに理事長として、ご就任をされましたと言う案内並びに挨拶文書が届いております。

③ F 川 RC より 11 月 12 月の例会案内が届いております、入り口資料テーブルに置いて御座いますので、ご一読をお願い致します。

④ 釧路ベイ RC 高橋与志一会長より、創立 10 周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております、期日 2007 年 4 月 (土) 13 時から釧路全日空ホテルで挙行されます、登録されます会員が御座いましたら、幹事までご連絡をお願い致します。

★ガバナー卓話

◎国際ロータリー第 2500 地区

ガバナー 小野 哲

士別ロータリークラブの千葉会員が補佐をしていただいておりますが、各分区から 1 人ずつ 8 人の補佐を出して頂いております。今年は補佐に恵まれまして公式訪問も本日を入れて残り 2 箇所の公式訪問となり、補佐には大変お世話になりありがとうございます。また、個人的にもお友達になれて嬉しく思います。千葉補佐は本当に心の温かい人で会ってお話をしていますとほっと致します。本日で最後であります、地区大会なども今後一緒に行こうかと話を致しております。今後ともお付き合いをして頂ければあり

がたいと思いますので、宜しくお願いいたします。士別ロータリークラブは地域に解け込んだクラブだと思います。先ほど羊飼いの家に行き非常に見晴らしの良い綺麗な景色を見て来ました。何回もこの街を通って来ていますがやはりそうゆう所に行かないとこの街の自然豊かな環境がわからないと思います。2500 地区はこの様な場所が多くありますので我々の誇りだと思います。ロータリー発祥の地とよく似た環境のこの地域を大切にして 2500 地区から純粋なロータリーの



精神を全国に発信して行きたいと強く思っています。地域と取り組んで行くのがロータリーであります、インターナショナルな事も考えていますが、例会を通じての友情の中から会員の個性、また、例会ばかりでなく地区大会でロータリアンとふれあう機会がありますので自分の半歩の一步の前進、これを通じて家族との会話そして職場あるいは地域、それがやがて全国に広がってくる。これが 168 カ国、122 万のロータリアンがこの様な気持ちで地域でロータリーの精神を発揮すれば形に見えない中からも豊かな地域が出来てくる、それがやがて世界平和に繋がってくると思います。このクラブ 1 人の女性会員の谷会員に先ほどお話しを聞いた所、祖父に連れられて親睦例会などに出られたと言うことでロータリーに入られたと言うことでした。ロータリアンは地域の為に何を残せるのかと言うことですが、青年や子供達、最近は特に児童の問題もあります、それからこれから生まれてくる生命に対してこの地域に我々は何を残して行くのかがテーマだと思います。そういう活動をしているという事であれば谷会員のご職業が幼稚園と言うことなので会に入っていることの意味が大きいと思います。頑張ってくださいと思います。あまり堅い話はしたくないのですが、ガバナーですのでその辺の事は少し話したいと思います。

今年度の R I ボイド会長のテーマ「率先しよう」は、前年度のステンハマー会長と連動するものだと思います。つまり、ステンハマー会長の「Service Above Self」は、ロータリー誕生 100 周年を機に「ロータリーの原点を見つめ

直そう」という意味が込められて居るのです。1911年のポートランド大会で生まれた「超我の奉仕」というテーマは、シェルドンの「He Profits Most Who Serves Best」のテーマと共に、ロータリーの歴史に燦然と光り輝くテーマですが、ステンハマー会長は、ロータリーの奉仕哲学が成熟した初期ロータリーの思想を訪ねることが、今必要であろうと、このテーマを掲げたのであります。つまり、ロータリーの原点に戻り、そこから再出発することを問いかけたのです。私は、ロータリー100年の歴史の節目にこのテーマを掲げたことは、非常に有意義なことだと思います。そして今年度のボイド会長は、原点に戻ってロータリーの思想に学んだ後は、今度はその教えに従って「奉仕の実践を行おう」と、「Lead The Way」のテーマに繋（つな）げたのだと思います。1935年、米国バーモント州・ウォーリングフォードという小さな村の、エリフィン湖を、一人の男が泳いで居りました。誰だろう、それはポール・ハリスその人です。彼はこの年67歳。「久しぶりに故郷に帰りたい」と、幼年時代、少年時代を過ごした、この人口千人ほどの小さな村、そして豊かな心を持った村人、美しい湖、川、山に囲まれた平和な地に帰ってきたのであります。故郷は、昔と変わらない温かさでポール・ハリスを迎えてくれました。この湖で泳ぎながら、その水の冷たさを肌を感じながら、彼は何を思っていたのでしょうか。想像の範囲を超えませんが、彼はきっと、67年



の来し方の人生を、そしてロータリーの歩みを振り返っていたのだと思います。この年に、ポールハリスの盟友で、ロータリーの奉仕哲学を完成させた中心人物・アーサー・フレデリック・シェルドンが死亡して居ります。奇しくも、ポールハリスとシェルドンは1868年、日本で言えば明治元年の生まれであります。シェルドンもまた、カリフォルニア州のサクラメントに旅したとき、サクラメント川の源流がどうなっているのか、友人と一緒に川を遡って行ったのです。しばらくすると川は狭くなり、そしてその向こうに、万年雪をたたえたシエスタ山が見えました。シェルドンはこの時「ああ、この川の源流は、あの山の白い雪なのだ」と知りました。人は、何かの時に、その物語の出発点、つまり

原点を見つめ直すものなのでしょう。そして、自分の心をその原点に置き、さらなる物語を作り上げて行くものだと思います。では、私達ロータリアンにとって、ロータリー思想の原点とは何なのでしょう。それは紛（まぎ）れもなく、ロータリー思想が成熟していった、約20年間



の初期ロータリーを見つめることだと思います。試行錯誤を繰り返しながら、激しい論争を経ながらも、しかし先達ロータリアンは真摯にロータリーを見つめ、語り合い、まるで美しい織物を織るようにしてロータリーの奉仕哲学を完成させていったのです。それは、人の知恵と時間が織りなした、芸術品とも言うべきロータリーの奉仕哲学でした。私達の人生は、一瞬先を見つめることも予想することも出来ません。瞬間、瞬間を重ね合わせて人生が形作られてゆくのです。それは正に白地図の上に人生という色模様を塗って行くようなものです。過去を振り返れば、山有り谷有り。美しい色もあれば、暗い色もあるでしょう。しかし、誰もが我が人生模様が、色彩豊かで、美しくものであるよう、努力するのです。その道標とも言えるのが、ロータリーの心だと、私は信じます。この道標に従って白地図を歩めば、私達は決して誤りなき人生地図を描くことが出来るのではないのでしょうか。今、企業人にとっての倫理観とは何か問われて居ります。自己の一步の前進、家族の、企業の、地域の、そして国の繁栄、平和を願う心を、ロータリーに学ぶ思いが致します。



◆ 懇 親 会 ◆

懇親会開会のごあいさつを千葉道夫ガバナー補佐より頂き、川島照雄地区副幹事より乾杯のご発声を頂きまして、懇親会が始まり、最後は野崎英男副会長が締めめの挨拶をして有意義な懇親会は終了致しました。



■ 第3回クラブ協議会 ■



★ 集合写真 ★

